

令和6年度全国学力・学習状況調査について<分析>

令和6年度「全国学力・学習状況調査」が3年生を対象に4月18日に実施されました。国語・数学のテストの結果と資料が文部科学省から学校に届きました。本校3年生全体の傾向について、次のように分析いたしました。

<1>国語の分析

国語の問題では、全体のバランスよく解答できており、「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」において正答率が高い傾向にありました。しかし、「我が国の言語文化に関する事項」については課題がみられました。

- ①書写の授業にて、行書体の書き方や書き順に触れる機会をつくる。
 - ②記述式の問いに取り組む姿勢を伸ばし、内容の精度を高める。そのために、自分の思いや考えを伝える作文やレポートを書く。
 - ③全国学力・学習状況調査の問いを参考に、授業における発問の内容を工夫する。
- 以上の3点を改善策とし、今後の指導を行っていきたいと考えています。

<2>数学の分析

全体として数学の問題では、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域で正答率が高い傾向にありました。以下に成果と課題を載せていきます。

○成果が高い結果となった問題については次の3つが挙げられます。

- ①「数と式」の領域で、等式を y について解く問題。
- ②「データの活用」の領域で、5つの箱ひげ図を比較して説明する問題。
- ③「図形」の領域で、2つの角の大きさについて説明する問題。

○課題となった問題については次の2つが挙げられます。

- ①「数と式」の領域で、文字式を用いて説明をする問題。
- ②「関数」の領域で、一次関数のグラフや式を用いて説明する問題。

◎課題に向けての対策としては、記述式の問題について苦手意識があるため、次のような対策を考えていきたいと思います。

「□□（前提）は、△△（結果）である。」「□□（グラフ等用いるもの）を用いて、△△（用い方）する」「□□（根拠）であるから、△△（成り立つ事柄）である」のように、論理的に説明できているか、記述できているかといった表現する場面を多く取り入れる。そのために、2人組や4人組で口頭での説明を増やしていき、それを自分の言葉でノートに記述する取り組みを増やしていく必要があると考えています。